

2022年5月吉日

プッシュ缶標準ガスをご購入されたお客様へ

ジューエルサイエンス株式会社
品質管理部品質保証課

プッシュ缶標準ガスの検査成績書における分析方法表記違いについて

拝啓

貴社ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、弊社より販売いたしましたプッシュ缶標準ガスの一部製品におきまして検査成績書記載の分析方法の表記違いがあった事が判明しました。お客様に際しまして、多大なご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

本件につきまして、製造元の大陽日酸 JFP 社（以下、JFP）ならびに弊社においての調査内容、対応についてご報告させていただきます。

なお、プッシュ缶標準ガスに対する濃度値保証は担保されており、製品の品質において問題無い事を確認しております。

ご査収の程、よろしく願いいたします。

敬 具

記

1. 対象製品

Cat.No.	製品名
1020-11231	酸素 0.5% 窒素バランス
1020-00202、00211、00224	特注プッシュ缶 窒素ガスベース 2種混合
1020-00302、00311、00324	特注プッシュ缶 窒素ガスベース 3種混合
1020-00402、00411、00424	特注プッシュ缶 窒素ガスベース 4種混合
1020-01202、01211、01224	特注プッシュ缶 窒素以外ガスベース 2種混合
1020-01302、01311、01324	特注プッシュ缶 窒素以外ガスベース 3種混合
1020-01402、01411、01424	特注プッシュ缶 窒素以外ガスベース 4種混合

2. 再発行が対象となる検査成績書

2021年9月30日以前に発行した検査成績書

3. 検査成績書における分析方法の表記違いについて

プッシュ缶標準ガスの検査成績書は、2021年10月1日から新書式に変更しております。

2021年9月30日までの旧書式で発行した検査成績書に記載されている分析方法はGCのみでしたが、新書式から別の分析方法も記載されているため、製造元のJFPに確認した結果、「検査成績書の書式変更を行った際に一部のガス種において誤表記が判明したため、実際の分析方法を記載した」との報告を受けており、実際に製造元のJFPで採用している分析方法は下記の6種になります。なお、全ての分析方法において、品質保証精度である濃度値に対して±5%が担保されている事は、確認されております。

【 実際の検査成績書記載の分析方法（6種） 】

GC	: ガスクロ	NDIR	: 非分散型赤外分光分析計
THC	: 全炭化水素計	M.M.	: 磁気式酸素計
Zcell	: ジルコニアセル酸素計	CVA	: 凝縮気化法

【 対象製品の検査成績書における分析方法の表記違いについて 】

Cat.No.	製品名	分析方法の表記	
		2021年9月30日以前	2021年10月1日以降
1020-11231	酸素0.5% 窒素バランス	GC	M.M.
1020-	特注プッシュ缶混合の一部のガス種	GC	6種のいずれか

4. 検査成績書の再発行の対応について

検査成績書はご依頼があったお客様に対してのみ発行しております。2021年9月30日以前に発行した検査成績書につきましては、ご指示いただいた製品を対象に正しい分析方法が表記された検査成績書を再発行いたします。

再発行をお求めのお客様はガスの成分名および検査成績書の右上に記載されている依頼番号と出荷検査日と一緒に弊社までご連絡をお願いいたします。

勝手ながら、再発行する検査成績書は2021年10月1日からの新書式となります。また、再発行のご要望が多い場合には発行までに時間がかかる場合もありますので、予めご了承をお願いいたします。

5. お問い合わせ先

ジーエルサイエンス株式会社 カスタマーサポートセンター

〒358-0032 埼玉県入間市狭山ケ原 237-2

電話番号：04-2934-1100：＜受付時間：平日 9:00~17:00＞

製品問い合わせフォーム：＜<https://www.gls.co.jp/contactus/inquiry.html>>

今後も、なお一層の品質向上に努めてまいりますので、何卒、引き続きご愛顧承りますよう、よろしくお願い申し上げます。